

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育原理 the principles of education		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	必修 (保育士養成課程必修・教職課程必修(幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
藤原保利	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「人間にとって善さとは何か」をメインテーマとして、新たな教育のパラダイムを構築するための基本的な教育の見方、考え方を考究することが本講義の目的である。内容としては教育とは何か、教育現象、「善さ」の構造、更には欧米の思想家の学説等々を紹介してその問題にアプローチする。あわせて幼児教育の目的、内容、方法についても理解を促し、重層的な理解を図る。				
授業の目標				
①パイドイア(Paideia)の意味と、「教」と「育」の字源、「教育」の語源を説明することができるようにする。 ②「善さ」並びに善さを決定するメカニズム(相互性、無矛盾性、効用性、美)を正確に説明することができるようにする。 ③各種の子ども観(粘土、白紙、植物、動物、人間)を説明することができるようにする。 ④ソクラテス、ペスタロッチ、デューイ等々の教育思想家の学説の違いを正しく認識することができるようにする。				
授業の方法				
基本的には板書を中心とした講義形式で行う。必要に応じて欧米の思想家のDVDを視聴する。単元終了毎に小テストを行う。また課題を提示し、それについての内容をまとめ学期末に提出する。「調べる・考える学習」を重視した授業の展開を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①東洋と西洋の教育の語源の意味を正確にとらえ、「教育とは何か」の問題に主体的にアプローチすることができる。 ②各種の子ども観、「善さ」の意味とその構造、更には欧米の思想家の学説(ソクラテス、ペスタロッチ、デューイ等)を援用して、近代以降のわが国の学校教育の問題点と課題を指摘し、新たなパラダイムを考究することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、概要説明 レポートのテーマと提出期限等について説明			
第2回目	教育の見方・考え方 独断的教育論からの離脱 教育の科学的・実証的研究			
第3回目	教育とは何か 東洋と西洋の教育の語源の意味とその時代背景 <小テスト>			
第4回目	教育現象とは何か 直接的教育現象 間接的教育現象 複合的教育現象 教育の意図・無意図と教育現象			
第5回目	ソクラテスの教育思想 「善さ」とは何か 「善くする」とは何か ソクラテスの歴史の意味 <小テスト>			
第6回目	プラトンの教育思想 アイデア—最高の善さの追求 イソクラテスの教育思想 人間主義・理想主義・現実主義			

第7回目	コメニウスの教育思想 「大教授学」の内容 ロックの教育思想 社会的実学主義		
第8回目	子ども観(粘土モデルの子ども観 白紙モデルの子ども観 植物モデルの子ども観 人間モデルの子ども観)		
第9回目	ルソーの教育思想 エミール執筆の動機と時代背景 教育目的論、内容論、方法論 <小テスト>		
第10回目	ペスタロッチの教育思想 教育事業 教育の原理、各国への影響		
第11回目	フレーベルの教育思想 「人間の教育」の内容 フレーベルの恩物と作業 <小テスト>		
第12回目	デューイの教育思想 プラグマティズム 成長としての教育 「民主主義と教育」		
第13回目	「善さ」とは何か 「善さ」のメカニズム		
第14回目	「善さ」と「快さ」の混同 試験		
第15回目	「善さ」の視点から幼稚園教育の本質・目的を考える		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		10%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場面で自分意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問する等々。(詳細はガイダンス時に説明する。)
レポート		20%	詳細に課題を探索し、内容構成もしっかりとしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細はガイダンス時に説明する)
調査報告書			
小テスト		20%	単元終了時に小テストを4回実施する。授業や教科書に書かれている内容が十分に表現されている。(詳細はガイダンス時に説明する)
試験		50%	論述式である。設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超え、自分の考え方も示されている。(詳細はガイダンス時に説明する)
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書:「保育原理」待井和江編 ミネルバ書房 参考書「教育原理」教師養成研究会 学芸図書			
履修上の留意点・ルール			
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等の持ち込み禁止。			